

# 外科 総合外科



石田 孝宣 教授 海野 倫明 教授 大沼 忍 特命教授 亀井 尚 教授 和田 基 教授  
診療科長(五十音順)

## 主な対象疾患

【肝胆膵・移植グループ】新患日：火・金 急患は随時受け入れます。

●【肝臓】：肝細胞がん、肝内胆管がん、転移性肝がん、肝腫瘍、肝内結石症、肝動脈疾患、脾機能亢進症、門脈圧亢進症など ●【胆道】：胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん、膵・胆道合流異常症、先天性胆道拡張症など ●【膵臓】：膵臓がん、嚢胞性膵腫瘍(IPMN、MCNなど)、膵神経内分泌腫瘍(PanNEN)、慢性膵炎など ●【移植】：肝移植対象疾患(胆道閉鎖症、原発性胆汁性肝硬変、原発性硬化性胆管炎、アラジール症候群、末期肝不全等)腎移植対象疾患(慢性腎不全)、膵・膵島移植対象疾患(1型糖尿病)

【上部消化管・血管グループ】新患日：上部消化管グループ 水・木 血管グループ 月・火 緊急時はこの限りではありません。

●食道癌、食道良性腫瘍(アカラシア、食道胃逆流症、粘膜下腫瘍)、緊急性を要する食道疾患(食道破裂など)  
●胃癌、消化管間葉系腫瘍、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、小腸腫瘍、鼠径ヘルニア・腹壁癒痕ヘルニア  
●腹部大動脈及び腹部・四肢の動脈、静脈疾患(腹部大動脈瘤、腹部内臓動脈瘤、下肢閉塞性動脈硬化症、重症下肢虚血、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症など) ●高度肥満および糖尿病などの代謝疾患

【下部消化管グループ】新患日：水・木 急患は随時受け入れます。

●大腸癌(結腸癌、直腸癌) ●炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎) ●家族性腫瘍(家族性大腸腺腫症、リンチ症候群)  
●消化管間葉系腫瘍(Gastrointestinal stromal tumor: GIST) ●神経内分泌腫瘍(カルチノイド) ●ストマケア  
■私たちの科では、腹腔鏡下手術の普及と教育に力を入れています。大部分の症例が侵襲の低い腹腔鏡下手術が可能ですので、軽症のものから重症のものまで進行度に関わらず多くの患者さんをご紹介いただきたく思います。

【乳腺・内分泌グループ】新患日：乳腺 月・水・木 甲状腺 火・金 緊急時はこの限りではありません。

乳腺疾患として ●乳腺悪性腫瘍(乳がん、肉腫など)、乳腺良性腫瘍(線維腺腫、乳頭腫など)、乳腺炎、乳腺膿瘍 など  
甲状腺、副甲状腺(上皮小体)疾患として ●甲状腺悪性腫瘍(甲状腺がん、悪性リンパ腫など)、甲状腺良性腫瘍(腺腫様甲状腺腫など)、甲状腺機能亢進および低下症、副甲状腺(上皮小体)腫瘍、原発性および続発性副甲状腺機能亢進症 など  
■外来日：新患・再来ともに診察致します。

【小児外科グループ】新患日：月曜・木曜の午前 急患患者さんに関しては24時間体制で受け入れております。

●そけいヘルニア ●停留精巣 ●臍ヘルニア ●肥厚性幽門狭窄症 ●腸重積症 ●急性虫垂炎 ●胃食道逆流症 ●頸部瘻孔・嚢胞  
●小腸・大腸・肛門の疾患(小腸閉鎖、鎖肛、ヒルシュスプリング病など) ●腸管不全 ●肝胆道疾患(胆道閉鎖症、胆道拡張症など) ●門脈圧亢進症/肺・縦隔・食道疾患(嚢胞性肺炎疾患、食道閉鎖・狭窄症など)/胸壁・腹壁の異常(漏斗胸、臍帯ヘルニア、腹壁破裂など) ●横隔膜の異常(横隔膜ヘルニアなど) ●良性腫瘍(血管腫、リンパ管腫、奇形腫など) ●悪性腫瘍(神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、悪性胚細胞腫瘍など)

# 肝胆膵・移植グループ

## 診療内容

私たちは肝臓・胆道(胆管、胆嚢)・膵臓疾患の外科治療および移植医療を中心として診療しています。

膵がん・胆道がん・肝臓がんはすべて難治がんであり、専門的な知識と技術が必要とされます。この領域の専門医が多数いる東北大学には肝・胆道・膵領域のセンターの診療施設として、東日本一円から患者さんが集まっています。日本肝胆膵外科学会の定める高難度手術を年間150～170例行っており、症例数からみても日本有数の施設です。

臓器移植の分野では、肝移植、膵移植、腎移植を行っています。肝移植はこれまで200例以上に施行し、また膵腎同時移植・膵島移植を15例以上、腎移植は110例以上に施行しています。

近年、肝・胆・膵外科グループと移植外科グループの統合により、さらに高難度な手術が可能となりました。他院で切除不可能と言われた高度進行がんに対して、術前の抗がん剤治療や放射線治療を組み合わせた切除や、移植の技術を応用した血管再建を伴う高難度な肝胆膵外科手術も積極的に行ってあります。また近年では肝胆膵外科手術においても内視鏡(腹腔鏡)を用いた低侵襲手術を積極的に導入してあります。

良性疾患である慢性膵炎・肝内結石症・膵・胆道合流異常症なども一般病院では治療が困難な特殊な疾患ではありますが、これまでに豊富な治療経験を有しています。

外来受診時、入院時や手術前後の十分な説明(インフォームドコンセント)と、関連病院と連携したきめ細かいフォローアップを心がけ、患者さんとの厚い信頼関係を築き上げる事が大変重要と考えています。また看護師・栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカーなどと連携し「患者さんに優しい医療と先進医療との調和」を基本理念として診療を行っています。